

土砂災害・風水害に備えましょう



これからの時期は、台風や雷雨、梅雨期の長雨や大雨により危険度が高まり、風水害や土砂災害が発生するおそれがあります。
特に東日本大震災により地下の深いところまで地盤が緩んでいるおそれがあるため、今までより少ない雨量でも土砂災害が発生することが懸念されます。

風水害や土砂災害による被害を最小限に食い止めるには、日ごろから気象情報に注意するとともに、家の周りの危険箇所を確認したり、非常持出し品を準備したりするなど、事前に効果的な備えをしておくことが大切です。

◆気象警報・注意報、土砂災害警戒情報の発令基準が暫定的に引き下げられています

気象庁では、大雨や洪水などの警報・注意報、土砂災害警戒情報について、東日本大震災に伴い、通常基準より引き下げた暫定基準を設けて運用しています。

◆避難場所は事前に確認を！

風水害や土砂災害の発生時に安全に避難するためには、避難所の位置や避難所までの経路を事前に確認しておくことが重要です。また、洪水やがけ崩れが予測される危険箇所を普段から把握しておくことも心掛けてください。

自宅の窓や屋根、雨どい、自宅周りの側溝などを再点検し、修理や清掃などが必要な場合には、早めに対処しておきましょう。被災時に家族が離れている場合を想定し、安全確認の方法を

話し合っておくことも大切です。

◆非常時の準備と早めの避難を！

貴重品・衣類・非常食・携帯用ラジオ・懐中電灯・電池など、必要最小限の荷物をいつでも持ち出せるよう準備しておきましょう。

がけ崩れや土石流の恐れが高まったときは、テレビやラジオの警戒情報や市役所、消防、警察などからの情報に注意しましょう。

また、雨量の変化や河川・斜面・がけなどの環境の変化にも気を配り、危険を感じたときは早めに避難するよう心掛けてください。

◆竜巻など突風にご注意を！

竜巻などの発生が予想されるときには、気象庁から竜巻注意情報が発表されます。

竜巻注意情報が発表された場合には、まず周囲の空の状況に注意を払っ

てください。さらに、空が急に真つ暗になる、大粒の雨が降り出す、雷が起るなど、積乱雲が近づく兆候が確認された場合には、頑丈な建物に避難するなど身の安全を確保するよう心掛けてください。

◆市では、自主防災組織の結成を推進しています

災害はいつ起こるかわかりません。「自分の身は自分で守る」という「自助」と、「自分たちの地域は自分たちで守る」という「共助」が災害から被害を軽減するために大切です。これら地域ぐるみで防災活動に取り組む組織として「自主防災組織」があります。

また「自主防災組織」のない地域では、これを契機に家族や地域ぐるみで話し合い、いざというとき円滑に行動できるよう「自主防災組織の結成」など地域の防災力向上に取り組んでいたいただきますようお願いいたします。

「自主防災組織の結成」については、本年度および来年度の限定で補助制度の拡充を行い、自主防災組織の結成を推進していますので、お気軽にご相談ください。

【問合せ】
総務課（内線204・210）

DUSKIN. 空門市 ダスキン 検索 お掃除のお悩み解決します！
ダスキンデータム空間店

モップで健康おそうじ **おうちのハウスダスト対策は大丈夫？**

ハウスダスト対策には、**新おそうじスタイルの3点セットがおススメ！**

- フロアモップF 4週間標準レンタル料金 **892円**
- リビングにおけるゴバクサイズ **ダストクリーナー** 4週間標準レンタル料金 **294円**
- モップ+ダストクリーナー 4週間標準レンタル料金 **1,186円**

ご興味のある方は今すぐお電話下さい！**0120-724-070**

<http://lohas-h.com>

ロハスホーム
～空間ショールーム～

住まいづくりの情報館になってます。
新築、リフォーム相談会実施中♪

デザイン×クオリティ×環境 空門市空間1085 筑波銀行空間支店前
株式会社 ロハスホーム TEL:0296-73-4062

こんな変化に注意

土砂災害の前ぶれ (前兆現象)

身のまわりでこんな現象が起こったら、すぐに近所の人や市役所に知らせ、安全な場所に避難しましょう。特に大雨が降っているとき、降ったあとは要注意です。

がけ崩れの前ぶれ



- ① がけから小石がパラパラ落ちてくる。
- ② 樹木がゆれたり、かたむいたりする。
- ③ 斜面から水がわき出る。
- ④ 斜面にひび割れができる。

避難所への移動が困難な時は、がけから離れた部屋や2階などに避難しよう。

土石流の前ぶれ



- ① 川や沢の中でゴロゴロという音がしたり、火花が見えたりする。
→上流の山が崩れ、大きな石がぶつかり合いながら流れてくるため。
- ② 川や沢の流れがにごり、生の木が流れてくる。
→上流の山が崩れて、土砂や木が川や沢を流れているため。
- ③ 山鳴りがする、異常なおいがする、地鳴りがする。
→上流で山が崩れているため。
- ④ 雨がふり続けているのに川や沢の水が減る。
→上流の川や沢が崩れた土砂でせき止められているため。土石流の危険がせまっている。

土石流から逃げる時は、川から離れてなるべく高い所にあがる。

地すべりの前ぶれ



- ① 池の水がにごったり、減ったりする。
- ② 山の樹木がザワザワとさわぐ。木の裂ける音や木の根が切れる音がする。
- ③ 地鳴りや山鳴りがする。
- ④ わき水がふえる。
- ⑤ 地面にひび割れや段差ができる。



ここにあげたのは前兆現象の一例です。このほかにも「いつもと何か違う」と感じたら、市役所や近所の人に知らせて安全な場所に避難してください。